

2018～2019年度  
第3回キャビネット会議

議長： 地区ガバナー L. 曾山 純廣  
司会： キャビネット幹事 L. 若松 忠洋

《日時》 2019年2月22日(金) 16:10～18:00  
《場所》 ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー 2F「白鳳の間」

- 1 開会宣言並びにゴング(議長 L. 曾山 純廣)
- 2 国旗に敬礼・国歌並びにライオンズクラブの歌斉唱
- 3 物故ライオンに黙祷
- 4 出席調査報告
- 5 地区ガバナーあいさつ(L. 曾山 純廣)  
(趣旨)  
沖縄での開催ということで沖縄の歴史や文化に触れる機会があった。沖縄に来るのは今回で7回目になるが毎回の歓迎に感謝する。いよいよ任期も残りわずかになり、玉城第一副地区ガバナーも着々と準備が進んでいることだと思う。最後まで気を緩めず、会員1名でも増えるように、そして退会者をなくすよう協力をいただきたい。LCIFについては寄付のお願いをしてきた。引き続き御協力をお願いしたい。  
複合地区の年次大会も沖縄で開催されるということでたくさんの県からたくさんの人が来るのではないかと。会の盛り上げを祈っている。奄美の方もいろいろお聞きしていることだと思うが調停の場でみっちり話をした。世話人の識名議長にも協力をいただきながらすばらしい話合いができたと思っている。双方が理解できる日がくるのではないかと。
- 6 複合地区ガバナー協議会議長あいさつ(L. 識名 安信)  
(趣旨)  
鹿児島島の役員もこうして沖縄に来てくださり顔を合わせて会議に参加出来ることを心から嬉しく思う。本日は前森名誉顧問も来てくださっている。我々は前森ライオンのこのライオンズに対する姿勢を学び、心から尊敬の意を表す。  
我々の鹿児島島と沖縄には約700キロ近く距離があるが、同じライオンズクラブ337-D地区の仲間として心の距離はなく、地区の問題はみんなで話し合うという姿勢が大事。ライオンズクラブも101年を迎え、変革の時代だと言われている。変えられることは変えていく。今日一日ひとりひとりに実になる楽しい会議になるよう祈念している。
- 7 第2回キャビネット会議議事録の承認について  
・「前回系」⇒「前会計」の誤字が訂正された。(7ページ9番)  
・挙手による賛成多数で承認された。
- 8 前年度一般会計・特別会計決算報告並びに会計監査報告と承認(前地区キャビネット会計 L. 新村 晃)  
・前年度会計について厳正に処理されていることの報告があった。  
・挙手による賛成多数で承認された。
- 9 第3回長期計画委員会報告(地区名誉顧問会議長 L. 吉村 千鶴子)  
・議事(1)地区年次大会関係、議事(2)次年度立候補者について説明がなされた。  
・議事(3)のクエスト事業は継続事業として申し合わされていることなので上程しないという説明がなされた。
- 10 審議事項  
(1) 財務関係  
・キャビネット会計 L. 松元より上半期の会計報告がなされた。  
・地区会計監査委員 L. 新村より1/29に会計監査を行い、不正もなく適正に処理されていると報告があった。  
・挙手による賛成多数で承認された。

(2) 第65回地区年次大会について

・キャビネット幹事 L.若松より資料の訂正がなされた。

(議事運営構成表の決議委員会副委員長とアワード審議委員会の委員にL.知識を入れる)

・キャビネット幹事 L.若松より第65回地区年次大会の説明がなされた。

(議事運営構成表・ガバナーズアワード審議委員会構成並びに日程・第65回地区年次大会日程表)

・挙手による賛成多数で承認された。

(3)次期地区ガバナー並びに副地区ガバナー(第一・第二)立候補者について

・キャビネット幹事 L.若松より立候補者の紹介がなされた。

・挙手による賛成多数で承認された。

(4)その他 ライオンズクエストについて

・長期計画委員会の議案「ライオンズクエストの推進及び経費負担について」は継続して審議していく

ということで承認された。

11 諸報告

(1)運営関係(7月～12月)

・キャビネット幹事 L.若松より運営関係について説明がなされた。

(会員増減状況・例会出席率状況・アクティビティ状況・三献他登録状況・LCIF拠出金・第2回ガバナー諮問委員会報告)

・挙手による賛成多数で承認された。

(2)経過及び現況報告

鹿児島R・リジョンチェアパーソン L.寿浦 数馬

今期の初めから3クラブが解散となった。いきなり「解散します」という相談もない解散だったので説得のしようもなかった。城山LCは13名の支部クラブを作ってくれたのでなんとか…しかし6月になると退会者が増えるので気を引き締めてリジョンチェアパーソンの役を全うしたい。LCIFはなかなかうまく進まず成績が0のクラブなどいっしょに対策を考えて一生懸命がんばりたい

沖縄R・リジョンチェアパーソン L.浜元 邦彦

沖縄の方も12月・6月は会員減となる。先日のゾーンチェア会議のときに次期ガバナーL.玉城の際には現在600名程の会員を100名増やして700名にしたいと話があった。家族会員が少ないのでそれをメインに増やそうとしたが、よく調べてみると家族会員が増えるとクラブの負担が増えることが分かった。2月末には間に合わなかったが6月末までにエクステンションが1クラブ行われる。それに向けてがんばっていききたい。

GATファシリテーター L.知識 友弘

ガバナーが掲げている「躍動」の元にセミナーのそれぞれ4回のセミナーが終了した。クラブに人数の割振りを行わずだったがどのセミナーも40名近い出席者がおり、これだけの人数を集めたことに講師からお褒めの言葉をいただいた。

沖縄の最後のセミナーでは、L.玉城が次年度も同じようにセミナーを開催したいとお話された。

鹿児島R・2Z・ゾーンチェアパーソン L.山本 順孝

会員増強は一進一退でどのクラブも進んでいないように思える。会員を増やすにはどうしても家族会員に着手していかなければならないと例会で話したところ9名の家族会員が入会した。各クラブにも諮問委員会などで話したところ現在で家族会員が19名となった。今度の諮問会議等でも話をして少しでも会員を増やしたい。LCIFについては、御理解はいただいているが、財政難や会員減などで難しい現状である。財政をどこからか持ってくる方法はないかといったときにクラブで5000ドル以上献金すると15%戻ってくるということも考えていきたい。

鹿児島R・3Z・ゾーンチェアパーソン L.揚野 卓郎

前回は諮問会議のテーマを会員増で進めてきた。今回の2月1日のテーマは「例会の出席率が向上するのか」で進めた。どのようなクラブか例会出席率がいいのかを調べて、出席率の高いクラブに電話をし、要請をして諮問会議に来ていただきノウハウを聞いた。一例として例会の案内を出すときの出欠用紙には会の種類をあげてどれに出られるか1つでも出られるよう記入する欄を設けた。そして例会の中にライオンピックとって同好会などを年間通して楽しんで活動できるものを取り入れている。参考にしていきたい。

鹿児島R・4Z・ゾーンチェアパーソン L. 本田 文男

クラブによって薬物乱用や献血の重要性などの出前講座を始めたクラブもある。ガバナーの重点項目である会員増はこの12月までで3名と難しい状況にある。LCIFは100ドル献金は8クラブとも難しいが20ドルは2月末迄に取り組むと申し合わされている。1000ドル献金も5名以上はできるのではないかと。2月末までに難しければ今期中に進めたい。

鹿児島R・5Z・ゾーンチェアパーソン L. 小川 武男

期首で135名で現況が133名と減…少なくとも期首の人数にする、増やすことを各クラブにお願いしている。例会に呼んでクラブの雰囲気味わってもらって入会してもらおうというクラブもある。例会出席率は60～70%の出席率である。若い会員・女性会員を増やしていかなければと思っている。献金については地域柄難しいところがある。ゾーンの活性化ということで4/6に合同例会を行うことになっている。

鹿児島R・6Z・ゾーンチェアパーソン L. 折田 真実子

増員は5名だが、1名引退をした。100ドル献金はクラブの例会で皆さんに図っている。

第3回諮問委員会にて年次大会の日取りやアワードの申請をしっかりと話をする予定。今回はホストクラブということなので協力をそれぞれのクラブにお願いをしたい。

鹿児島R・7Z・ゾーンチェアパーソン L. 加藤 俊作

家族会員を方を少しでも増やせるようにしているところだが、会員によっては家族会員に対して正会員の方が真つ当な会員であると考えている方もいる。意識変革をしていきたい。ゾーンミーティングでそれぞれのクラブの事業内容を伝え合いよりよいクラブ発展になりえるようサポートしていく。

沖縄R・1Z・ゾーンチェアパーソン L. 与古田 徳修

いつも会員が減るといふクラブが20名増やすという力強い意見があった。残り4ヶ月で会員増強に向けてがんばっていききたい。

沖縄R・2Z・ゾーンチェアパーソン L. 又吉 淳市

6月までの会員増強をどのように行っていくのか、例会にオブザーバーとして呼んでから入会に至るといふ方法をとっているクラブもある。100ドル献金を周知していくことが今後の課題。今年からヘッドネーションを少人数のクラブで取り組んでいるので頑張っている。次年度に向けて献血に取り組んでいくことも課題。

沖縄R・3Z・ゾーンチェアパーソン L. 金城 寛

クラブ事務局のないクラブはなかなか情報を共有できない。いろいろな活動に差し支えるので相談していく。

合併したいというクラブもあるが合併したときに会員が減る可能性もある。それも踏まえて慎重に真剣に考えていかなければならない。

地区GMT委員長(沖縄担当) L. 新里 正雄

2/16GMT委員会で御指摘と激励を賜った。ガバナーやリジョンチェアパーソンのお言葉などが各クラブまでしっかり伝わっているのかということも言われた。会員が減る現状ではあるが頑張っていきたい。

地区GST委員長(鹿児島担当) L. 尾辻 伸朗

2/17糖尿病セミナーを行った。各クラブGST委員長のミーティングの機会になった。

地区FWT委員長(鹿児島担当) L. 三反田 三寿代

9/26・1/21FWT会議を行った。女性会員の増強・男女格差の解消・子どもの貧困問題などの問題を解決する為にFWTの重要性が話された。鹿児島城山LCから城山むらさき支部が結成された。4月にも支部クラブの結成が予定されている。

地区LCIF委員長(鹿児島担当) L. 窪田 建男

100ドル・1000ドル献金の協力を願いたい。残念ながら九州内で337-D地区は最下位の現状。しかしこれからアワードに向けて増えてくるのではないかと。

地区クエスト・レオ委員長 L. 新山 広明

2/8・2/9の第3回クエストフォーラムは大盛会で終わることができた。地区内からも発表や講話・委員長の協力もありとてもいいクエストフォーラムになった。

2/24急ではあったが県内初の高校での開催がある。申込みはまだ今からでも申し込んでいただければ。

地区GST委員長(沖縄担当) L. 崎浜 秀一

各クラブに糖尿病の冊子を配布した。とても分かりやすい本になっているので啓蒙活動に使っていただけたら。

地区GLT委員長(沖縄担当) L. 玉榮 茂樹

次世代リーダー育成に向けて昨年から人材育成に関する講師を探していて見つかった。セミナーを行うことを考えている。

地区FWT委員長(沖縄担当) L. 徳田 則子

地域にFWTについて周知したりヘッドネーションに取り組んだりしている。支部結成については沖縄ではお時間が欲しい。

地区LCIF委員長(沖縄担当) L. 大石 哲也

沖縄でも各月にいろいろな方が寄付している。識名議長もこれの10倍くらいの寄付をしている。

地区FWT副委員長 L. 溝口 美純

複合のL. 吉村の元で委員長と共に頑張っている。鹿児島黎明LCにやっと家族会員の女性会員が入った。

情報テクノロジー委員長(沖縄担当) L. 神田 剛

SNSを使って各クラブの事業の紹介などを発信している。なかなか全クラブをカバーすることができないのが今後の課題。

地区YCE委員長(沖縄担当) L. 砂川 豊藏

スロベニアの来日生を受け入れてすばらしい経験になったのでは。派遣は沖縄LC・浦添でここLCから予定している。

L. 吉村 千鶴子

家族会員ができれば必ず地区のFWT委員会に報告して欲しい。

L. 寿浦 数馬

今回鹿児島県でYCEのキャンプが行われる。本日視察を行っている。今年度鹿児島がキャンプ地なので来年度はぜひ沖縄がキャンプ地として協力いただけたら。

## 12 その他

(1)102回国際大会概要について(複合地区国際大会委員長 L. 松川 富三男)

参加目標人数を2,500名に向けて参加を募っている。現在MD 3 3 7は140~150名は見込めるかなというところ。D地区は30名程。35~40名にむけて後一押しして欲しい。

国際大会に参加しても日本の皆さんは投票する方が少ない。5/1までに議員登録をして投票して欲しい。

ホテルが足りないと言っていたが余っている。ぜひ皆さんに参加していただけたら。

(2)第65回複合地区年次大会について

・L. 若松より資料の日程のお目通しを願った。

## 13 閉会

以上

議事録作成人

キャビネット幹事

若松 忠洋

議事録署名人

鹿児島R. 4 Z. ZC

本田 文男



鹿児島R. 7 Z. ZC

加藤 俊作

